

理研会報

発行 印刷 理科研究部
事務局 成田市立成田小学校
成田市幸町948-1

平成10年度 県教研 参加報告生口

三里塚小学校 村田 正志

本年度は、次の三つの柱で提案が行われました。

一、環境教育(四本)

二、指導法の改善(四本)

三、子供の興味関心を高める理科学習のありかた(三本)

その中で、特に地域の自然を生かした環境教育の提案が印象深く残りました。

以下、環境教育をテーマにした四本の提案を報告します。

夷隅支部・地域のネイチャーセンター指導員を活用し、年間を通した野鳥観察を行いました。四年生「季節と生き物」の中で行ったツバメの巣作りに挑戦は、直接体験を通して、身近なツバメのつ能力を認識できるという点で、すばらしい実践だと思いました。

市原支部・地域にある川や用水路を教材とした環境学習。今は汚れてしまった地域の川を調査したり、以前の川の様子を地元のお年寄りから聞いたたりして、この川をきれいにするための方法を児童一人一人考えだしていました。

見る。そして現在の大変さに気づく。その体験こそが大切である。(多古町立中村小学校校長 関守雄先生)

「いつでも暮らしとどう関わるのかを考えて実践してほしい。地域の歴史、政治的背景、人間の倫理観についてぜひ触れてほしい。また、きれいなものに感動する。破壊されたものに驚愕する。調査を通して地域の人々と出会う。これらの体験が自分の暮らしを変えるのに役立つようになること、これこそが環境教育を通して生きる力を養うことになるのではないか。」

また、指導の中では総合学習についてふれられました。

「今までのクロスカリキュラムでは、それぞれの教科の目標を明確にしておく必要があった。しかし、総合学習においては、子供たちの発想や疑問を大切にしていけば教科の枠に縛られることはできない。活動自体はダイナミックで子供たちにとっては楽しい学習になるだろうが、何も残らないのでは意味がない。総合学習としての目標をぜひ明確にして取り組んでほしい。」という指導をいただきました。

「二、三年に向け、総合学習における理科の役割。総合学習の役割の違いを考えなければならぬと感じました。」

原山中学校 鈴木 宏

十一月十三日・十四日の二日間、にわたり佐原市立佐原小学校を会場として行われた県教研に参加しました。そのときの内容や様子を報告させていただきます。

私が参加した中学校理科では、討議の柱を三つ設け、その内容に沿って十本のレポートが提案されました。今年度の討議の柱は、「環境学習に関する事柄」「科学的思考に関する事柄」「教材・教具に関する事柄」の三つでした。

特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。

私たちの印刷支部は二つ目の柱の科学的思考に関する提案を行いました。この柱に関しては私たちの他に、君津・山武・香取からの提案がありました。印刷支部は、討議の柱そのものの科学的思考を育てる指導という内容で発表を行いました。六年計画の五年目というところで、来年に続く内容もあつたのですが、今までの成果を発表することができたと思います。特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。

また、君津・山武・香取からの提案がありました。印刷支部は、討議の柱そのものの科学的思考を育てる指導という内容で発表を行いました。六年計画の五年目というところで、来年に続く内容もあつたのですが、今までの成果を発表することができたと思います。特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。

また、君津・山武・香取からの提案がありました。印刷支部は、討議の柱そのものの科学的思考を育てる指導という内容で発表を行いました。六年計画の五年目というところで、来年に続く内容もあつたのですが、今までの成果を発表することができたと思います。特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。

また、君津・山武・香取からの提案がありました。印刷支部は、討議の柱そのものの科学的思考を育てる指導という内容で発表を行いました。六年計画の五年目というところで、来年に続く内容もあつたのですが、今までの成果を発表することができたと思います。特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。

また、君津・山武・香取からの提案がありました。印刷支部は、討議の柱そのものの科学的思考を育てる指導という内容で発表を行いました。六年計画の五年目というところで、来年に続く内容もあつたのですが、今までの成果を発表することができたと思います。特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。

また、君津・山武・香取からの提案がありました。印刷支部は、討議の柱そのものの科学的思考を育てる指導という内容で発表を行いました。六年計画の五年目というところで、来年に続く内容もあつたのですが、今までの成果を発表することができたと思います。特に今年注目されたのは、環境学習に関する内容で、市原・東総・安房・夷隅の四つの支部から提案されました。過去において、これほど環境に関するレポートが出されたことはなかったそうです。それだけ関心が高いことを表していると思います。その中でも夷隅支部のレポートは、環境学習を三年間の指導計画の中に位置付けて実践した結果、生徒が環境教育に対して総合的な見方や考え方ができるようにになったこと、全校で夷隅川をきれいにする取り組みを行ったことが報告されました。また、市原支部のレポートは、市原市南部の四つの中学校で学区内の動物を調査し、それを学校ごとにVTRにまとめて、そのビデオを交換して授業を行い、各学校の地域の実態を見せながら、環境に対する関心を高めようとするものでした。その結果、市内の自然を再認識できた生徒が多く見られ、この自然を残していこうと考える生徒がたくさん出てきたなどの成果が見られたことが報告されました。



—— 垣瀬佳米後記 ——

理研会報第二百六十六号をお届けいたします。今回は、「県教研参加報告」ということで二名の先生方の記事を載せました。次号は「私の教育実践」を掲載したいと思います。

*投稿等につきましては、各研究部長にお尋ねください。

印教研 理科研究部事務局